

2023 Autumn

国土交通省 四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所

Vol.59

あけ

めなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

クルーズ船
「飛鳥II」
が寄港！



TOPICS

- クルーズ船寄港回数が過去最多
- サマースクール2023
- 海の工事を支える起重機船

ごあいさつ

読者のみなさま、こんにちは。事務所長の森和彦でございます。

朝夕はめっきり涼しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回はクルーズ船の寄港とスポーツの秋について、触れてみたいと思います。徳島小松島港でも2023年3月に国際クルーズの受け入れを再開し、新型コロナウイルスの影響で減っていた寄港回数も盛り返しを見せています。中国発着のクルーズ船も3年ぶりに日本への寄港が再開され、徳島県に中国船籍「招商伊敦(Zhao Shang Yi Dun)」が6月28日、初寄港しました。日本のコロナ禍前のクルーズ船寄港による訪日外国人旅行消費額は805億円と推計されている(※)ことから、寄港地域への経済効果の大きさがうかがえます。

そして、スポーツの秋ということで、7月に福岡で開催された世界水泳(日本で開催されたのは22年ぶり)では日本勢が10個のメダルを獲得し、列島を沸かせました。また、闘病を経て6年ぶりに世界選手権の舞台に立った池江璃花子選手は、女子50mバタフライで7位入賞を果たし、声援に涙する光景は感動しました。その姿を見習い、何事に対しても諦めない努力をし、業務を全うしていく所存です。

先日、本港地区にある小松島みなと交流センターkocolo周辺で秋のイベント「こまつしま秋の阿波踊り」が行われました。ほかにも、「みなとマルシェ」など様々なイベントが行われています。最後に、当事務所もイベントに合わせてみなと見学会などを開催しております。ぜひ立ち寄ってみてください。地域の皆様と交流できることを事務所職員一同楽しみにしております。

小松島港湾・空港整備事務所長 森 和彦

※ 出典：訪日外国人の消費動向 2019年報告書(観光庁)

クルーズ船の寄港が待望の再開！

今年の徳島小松島港クルーズ船寄港回数は、史上最多の18回の寄港が予定されています。(2023.9.26時点徳島県HPより)

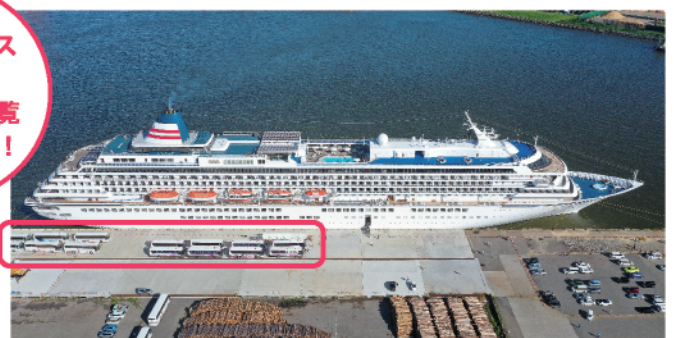
新型コロナウイルスや台風の影響でR1～R4の寄港回数は落ち込んでいましたが、今年は新型コロナウイルス流行前よりも大幅増加しており、活気が戻ってきています。また、市街地では、下船した乗客が観光を行い、にぎわいを見ることができ、クルーズ船振興による経済効果が期待されます。

9月27日には、オーストラリア船籍「コーラル・アドベンチャラー」が徳島県に初寄港しました。クルーズ船は、沖洲地区、本港地区、金磯地区と赤石地区に寄港します。寄港した際には、港に見学ブースもございますので、ぜひ大きな豪華客船を見に行ってみてください！



徳島小松島港におけるクルーズ船寄港回数

マイクロバスに乗って阿波踊り観覧や観光地へ！



「飛鳥II」 撮影日：2023/8/12 金磯岸壁

4年ぶりに開催！サマースクール2023！

7月29日、小中学生以下を対象として徳島県、沖洲海浜楽しむ会、四国防災八十八話・普及啓発研究会と当事務所が共催し、「みなとサマースクール2023」を開催しました。このイベントは、“徳島の海を知る、学ぶ、体験する”ことを目的としていて、環境学習や海面清掃船「ブルーグリーン」の紹介、防災学習が実施され、当事務所は港湾業務艇「ひのみね」による“みなと見学会”を行いました。そして、今年度は9組の親子が参加しました！

沖洲ポンツーンを出発し、徳島津田バイオマス発電所→津田地区岸壁→津田防波堤→沖洲(外)防波堤→オーシャン東九フェリーのりば(沖洲地区耐震強化岸壁)→港湾倉庫リノベーション新町川周辺と巡って戻ってくる約50分のみなと見学会となりました。当日は風が強く、波が高かったため、四国防災八十八話「お亀千軒」の舞台となった才亀磯灯標の近くに行けなかったのですが、港の中を穏やかに保つ防波堤の果たす役割がよくわかる見学会となりました。終了後、子供たちは操縦席に座っての記念撮影や「ひのみね」の船長に操縦の仕方、海図の見方を教えてもらい、笑顔で下船していました。子供たちにとって夏休みの良い思い出になったのではないのでしょうか。

本記事を執筆しております1年目職員の私もみなと見学会の説明をいたしました。参加した子供たちが海や川からの風景を興味津々に見たり、説明を聞いたり、写真を撮ったり、楽しんでいました。そのような見学者の方のリアクションを見ると説明時の緊張感が和らぎ、やりがいを感じることができます。

当事務所としまして、港湾の重要性、港湾施設についてイベントなどを通して、子供たちにもっと知ってもらい、親しみを覚えてもらえるように今後も邁進して参ります！



ライフジャケットを着て
港湾業務艇「ひのみね」に
向かう親子と職員



乗船する見学者
当日は放送局による
取材もありました



見学者を乗せて出発！



弊所職員による説明



海からの“みなと”の風景を
楽しんでいただきました！



安全に乗下船できるように
職員がサポート



防災や海の世界、船のお仕事を
勉強しました！



楽しいクイズもありました！

当事務所では他にも小松島みなとマルシェや地元のイベントにあわせて
みなと見学会を開催しています！
小松島港湾・空港整備事務所HPをチェックしてみてください！

今年もリフレッシュ瀬戸内が開催されました!

6月10日にリフレッシュ瀬戸内in小松島市が金磯・横須海岸で開催されました。「リフレッシュ瀬戸内」は、瀬戸内海沿岸部の自治体等で構成される「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の取り組みで、毎年夏場に各地で海岸付近のごみ回収活動が実施されています。“参加しやすい活動”を通じて“美しい瀬戸内を守っていく”ことを、参加者をはじめとする多くの人々に訴えていくことを目的として行われている取り組みです。当日は天候にも恵まれ、総勢1000人あまりの子供からお年寄りまで幅広い年代の方々が参加されました。金磯弁財天あたりの海岸まで、人の列が連なっており、規模の大きさを実感することができました。海岸清掃の他、アサリの放流などイベントがあり、子供たちが放流を楽しんでいました。

リフレッシュ瀬戸内は今年も徳島県内5市町で行われました。毎年6月～8月に各地で開催されていますので、みなさん来年是非とも参加しましょう!



海浜清掃の様子(金磯・横須海岸)



お年寄りから子供まで
色々な年代の方が参加!



打ち上げられたゴミや流木などを
みんなで拾いました



子供たちがアサリを放流しました



拾ったゴミの分別の様子



当事務所の職員も参加しました!

横須松原の育樹ボランティア活動に参加しました!

8月20日に、小松島市の横須松原において、今年も小松島高校の皆さんによる清掃ボランティア活動「松原の育樹ボランティア活動」が行われました。朝8時頃から約1時間かけ、松の根元の雑草刈りなどが行われ、地元の方々に加え、当事務所職員も参加し、お手伝いさせていただきました。高校生たちは慣れた様子で、清掃活動を行っていました。清掃後には、いっぱい入ったゴミ袋がたくさん積まれていました。

この活動は今年で25年目となっています。この取組みが海岸環境美化活動の功績として称えられ、海事功労者へ贈られる国土交通大臣表彰を受賞しています。それを記念した石碑が横須松原に建っています。

一度は虫食い被害などにより、松の木が極端に減少した松原ですが、小松島高校の皆さんの継続した育樹・清掃活動により、松原が復活してきている事が分かります。

今年の活動はすでにこれで3回目、今後もさらに活動をしていくということで地元の自然環境保全への期待が高まります。



松の木周辺の雑草刈りの様子



夏の間成長した雑草で
ゴミ袋がいっぱいに!



当事務所職員も参加しました!

起重機船とは ～海の上のクレーン～

おしえて
コマぼん



今回は、『起重機船』という作業船を紹介します。

右の写真の起重機船は、今年に新造されたばかりで、最大600tをつり上げることができるほか、海の上で寝泊まりできるなど、安全に港湾工事を行うために乗組員にとってより良い環境となっています。

空調はもちろん、きれいな調理場やミーティングルームなども完備され快適に過ごすことができます。

また、徳島市と防災協定を結んでおり、時には避難場所にもなるなど、地域への貢献が期待されています。

起重機船は、港湾工事などいろいろな工事現場で活躍しています。



「第8若栄丸」(兼子建設株式会社所有)



ブームを倒して
橋の下を通ります



ミーティングルーム



乗組員の居室



起重機の操縦室



操舵室



談話室

提供: 兼子建設株式会社

起重機船の活躍

当事務所では、安全かつ便利で、さらに地域の発展を促す海と空の「みなと」の整備を進めています。

『起重機船』は港湾工事でよく使用される作業船のひとつです。

右の写真は消波ブロックを設置しているところです。

防波堤は港を波から守る必要不可欠なもの、その整備に起重機船が活躍しています。

本誌では、これからも港湾に関するあれこれを皆さんに紹介していきます。次回をお楽しみに!!



消波ブロック(16トン)の設置状況
(沖洲(外)防波堤)

小松島港まつり協賛行事 ～海のお掃除船「みずき」と港湾業務艇「ひのみね」の魅力を実感～

7月15日、小松島港まつりの協賛行事として、海面清掃兼油回収船「みずき」の一般公開と港湾業務艇「ひのみね」の「みなと見学会」を開催しました。「みずき」では、実際に船員が関節クレーンを動かし、来場者は大きなクレーンが丸太をつかむ様子を興味津々に見学していました。

また、「みなと見学会」は、全4便(1便20名・全80名)の運航予定で、早々に満員御礼となり、たくさんの方に興味を持っていただいていることを実感しました。

今回のイベントも小さなお子様から大人まで、幅広い年齢層の方々にご来場いただきました。「みずき」のペーパークラフトを握りしめ見学しているお子様や、職員に「みずき」や「ひのみね」について質問する方もいて、その中でも親子で来ていた小学生が「油回収はどうやってするの?」と問いかけてくれたことが印象に残っています。流木などの回収だけではない海洋環境整備事業の役割に興味をもって質問してくれる姿にこのようなイベントをやって良かったと感じました。

「みずき」の一般公開や「ひのみね」の「みなと見学会」は毎年行っておりますので、機会があれば足を運んでいただけると嬉しいです!



職員から「みずき」の説明を受ける親子



「みずき」の船員がクレーンを操作する姿



みなと見学会の様子

四国地方整備局管内 技術・業務研究発表会が開催されました! 当事務所の保全係長が優秀賞を受賞しました

8月に四国地方整備局主催で行われた「管内技術・業務研究発表会」において、当事務所保全課上邨係長が「港湾工事におけるDX推進による私たちの取り組み」を発表し、優秀賞を受賞しました。

インフラDXが私たちの業務に果たす役割について、実際の工事での活用例を踏まえた発表でした。

最新技術を活用した取り組みが進むことによって、時代のニーズにあった港湾工事・業務の負担軽減、効率化が期待されます。



左側: 森所長
右側: 上邨係長



発表中の上邨係長

職員コラム 永年勤続30年表彰 補償調整官 清水康政

この度、永年勤続30年表彰を受賞しました。平成5年に入省してすぐに永年表彰勤続の表彰式の事務方として受賞されている方々を見たときには自分が受賞される側になる姿は全く想像できませんでした。それがこの度の受賞となったのはひとえに導いてくださった諸先輩方のご指導や同輩方のご協力のおかげと感謝しております。引き続き、職務に精励して参りたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



当事務所

TEL

出前講座、現場見学のお問い合わせは...

(0885)-32-3855

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。



事務所ホームページQRコード

発行/国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 企画調整担当
〒773-0001 小松島市小松島町字外開1-11 小松島みなと合同庁舎2階 TEL: (0885)-32-3855 FAX: (0885)-35-0010

URL <http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
E-mail pa.skr-kmj-m-i88s3@mlit.go.jp



地球に優しい大豆インクを使用しています。